学校番号	３０７

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３年次
使用教科書	「高等学校現代文Ｂ　改訂版」（三省堂）						
副教材等	「新国語総合ガイド 四訂版」（京都書房）、「読解現代文必携　キーワードの卵」（尚文出版）、「錬成現代文 大学入学共通テスト対策版」（尚文出版）、「大学入試国語頻出問題１２００　四訂版」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文Ｂ」では、近代以降の様々な文章に親しんで「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・授業には、話し合いや文章記述、発表などの場もありますが、自ら学ぶ姿勢をもって参加してください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習しましょう。
・授業を受けていて疑問に感じたことは、早目に質問してください。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めることができる。
・さまざまなジャンルの作品を読解し、言語文化に対する関心を深めることができる。
・文章を読んで、文章の内容や構成を把握し、筆者の意図や登場人物の心情を的確に理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選び、思いや考えを適切に表現することができる。
・人間関係において互いの立場や考えを尊重し、相互理解を深め、適切に意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：話す・聞く能力	ｃ：書く能力	ｄ：読む能力	ｅ：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化および言葉の特徴やきまり、などについて理解を深め、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシートなど）	行動の観察 （発表後のパフォーマンスの評価）	記述の確認および分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認および分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシートなど） 定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論を読むⅠ	教材： 「ぬくみ」 （鷲田清一） 「『なぜ』に答えられない科学」 （池内了）	○			◎	○	a：主題として取り上げられている問題について考えを深めようとしている。 d：文章の内容に着目し、筆者の考えを理解している。 e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	a：行動の観察および記述の点検 d、e： 記述の確認 定期考査、小テスト
	評論を読むⅡ	教材: 「猫は後悔するか」 （野矢茂樹）	○			◎	○	a：論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 d：筆者の主張とその論拠を理解している。 e：論理の展開を表す接続語などの用法を、理解している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認及び定期考査、小テスト
2学期	小説を読むⅠ	教材： 「鞄」 （安部公房） 「捨てない女」 （多和田葉子	○			◎	○	a：文章の特色に注目し、内容を深く理解しようとしている。 d：登場人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。 e：比喩表現や語句の意味についての理解を深めている。	a：行動の観察および記述の点検 d：記述の確認、定期考査 e：記述の点検、小テスト
	評論を読むⅡ	教材： 「陰影礼賛」 （谷崎潤一郎）	○			◎	○	a：論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。 d：題材や文の組み立てに注意しながら筆者の考えを把握している。 e：語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。	a：行動の観察および記述の点検 d：記述の分析、定期考査 e：記述の点検 定期考査、小テスト

	詩を鑑賞する	教材： 「時計」 （萩原朔太郎）	○	○		◎	○	a：繰り返し音読することで詩の韻律になれようとしている。 b：読み取った詩の世界を話し合い、自分の考えを深めている d：一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしている。 e：詩の表現形式や修辞について理解している。	a：行動の観察および記述の点検 b：行動の観察と確認 d、e： 記述の確認 定期考査、小テスト
3学期	評論を読むⅢ	教材 「忘れられる権利」 （宮下紘） 「身体〈の〉疎外」 （黒崎政男）	○		○	◎	○	a:考えの進め方や文章の筋道を的確に捉えようとし、筆者の見解を理解しようとしている。 c:日常生活における身近な権利についての自己の考えを的確に文章にまとめている。 d:考えの進め方や文章の筋道を的確に捉え、筆者の見解を理解している。 e:読むことに必要な文章の組立や概念を理解している。	a：行動の観察および記述の点検 c：記述の確認および分析 d：記述の確認および分析 定期考査 e：記述の分析 定期考査

＊表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

＊評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、全ての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎印を付している。